

## 加賀友禅をまとったロボットが 万博来場者の「お見送り役」に！



●友禅着物「羽音」 左  
平和や幸福、再生を象徴する鳳凰とイチヨウ  
(大阪府の木)

●友禅着物「青の祈り」 右  
生命の根源を表し、永遠や豊かさを表す滝  
(水の流れ)がモチーフ

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博。その中で、人間とロボットの共生・融合を通じ多様な未来の姿を提示したシグネチャーパビリオン「いのちの未来」では、アンドロイド「Yui（ゆい）」が来場者のお見送りを担当し注目を集めました。ロボット工学の第一人者・大阪大学の石黒浩教授がプロデュースし、遠隔操作で動く最新技術のロボット「Yui」は、加賀友禅のきものをまとい、頭部や帯には輪島塗の技法が取り入れられています。

「Yui」の衣装を手がけたのは金沢の毎田染画工芸で、加賀友禅作家の毎田仁嗣さんが、ジェンダーレスな「Yui」のコンセプトに合わせて制作。絵画的で多彩調な加賀友禅の要素に、毎田さんの特徴的な作風である、幾何学的な表現が組み合わされています。また、加賀友禅文化協会が普及をすすめる、金沢の桜から抽出した植物染料を一部に使用するなど、伝統と革新の融合を考慮しつつ、能登の震災と豪雨からの復興への祈りが込められました。この「Yui」は金沢市内でも特別展示され、地元の人たちにも最新技術や工芸の魅力に触れてもらいました。